

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員に対し適切なスペースの確保ができています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適正な人数以上、職員の配置をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			バリアフリー構造になっており、車いす等の利用者への配慮ができています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定期的にミーティングを実施し、共有できている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			定期的にアンケートを実施し、業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	社会保険労務士や、外部コンサルタントと提携し、評価を基に業務改善を行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内、外部の研修会・勉強会を実施している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントシートを活用し、適切に計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			保護者と知能検査・発達検査などのアセスメントツールの情報を共有し、使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			定期的にミーティングを行い、活動プログラムの立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節に合わせた行事などを取り入れ、活動プログラムを工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			それぞれの日に応じて、活動や課題の設定を行い支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況や保護者のニーズに合わせて計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			療育案やスケジュールを用いて確認を行い目的を共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後に振り返りを行い、情報共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			サービス提供記録を記入し、支援に活用している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			基本活動のア～エを組み合わせ支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			適切な職員が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			必要に応じて連携を取っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			主治医との連携を図れるよう情報共有できる体制になっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援専門員の方を通して情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			情報共有が行われる体制が整っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			定期的に連携を取っており、意見交換を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	外部のお子様と交流できる機会を検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	参加できる部会の情報を取りに行く
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に子どもの様子を保護者と伝え合い、情報共有を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			家庭での支援について助言や提案を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っている。問い合わせがあればその都度説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			子育ての悩み等の相談にも適切に応じしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			意見交換会を開催している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情、相談等があった場合は、迅速かつ適切に対応している。また、定期的にミーティングを実施し、再発防止に努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的にスケジュール表を作成し配布している。ホームページにて定期的にブログの更新を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			保護者に同意書もらい、取り扱いには十分注意している。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			それぞれの子供に合わせた伝え方を考え行っている。送迎時の会話以外に連絡帳の交換も行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域意見交換会を実施している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを作成し、職員や保護者に周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			委員会の設置や定期的に事業所内・外部の研修機会の確保などを行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			事前に保護者に説明し、同意を得た上で支援計画や身体拘束の記録に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者にアセスメントを行い、医師の指示書に基づき個別緊急時対応シートの作成を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告書を作成し、定期的にミーティングで共有している。